

# 北のわらしべ

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)

連絡先：〒065-0042

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

TEL 011-776-7981 [法人本部]

《秋号》 令和元年 11月1日発行

2019年ブダペストを訪問して

理事長 川本明良

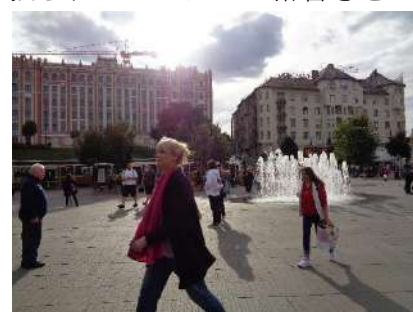
10月初旬に約1週間の旅程で久しぶりにブダペストを訪問しました。ペトゥ研究所元所長故ハーリ・マーリア博士の命日に記念フォーラムが開催され、そのフォーラムに参加することが目的でした。さらにわらしべ会と古くからお付き合い頂く、ある日本人研究者の奥様が亡くなられ、その葬儀に参列することも急に訪問を決定した理由でした。

近年、ブダペストの中心部はモダンなビルや便利なターミナル、新型のバスや電車など訪問するたびに大きく変化しています。今回もこの急激な変わりように驚かされました。大きな広場にはどこも隣接するショッピングセンターができ、おしゃれな服装の若者がカフェで話している様子は、私が暮らしていたころと隔世の感があります。街の大きな発展はEUからの支援や国外資本参加で実現しているようです。

ちょうど私が訪れた時期が首都や中核都市の市長や区長などの地方選挙を控えた時期だったこともあり、町中に選挙ポスターが張られ、テレビで選挙の争点が議論されていました。ちなみに私の帰国後行われたこの選挙結果は野党連合が大躍進したとのことです。野党候補者がブダペストの他、多くの地方都市で保守政党を破って当選し、ブダペストの市議会も野党連合が過半数を獲得しました。

日本の報道で取り上げられることが少ないハンガリーですが、オルバン・ヴィクトル首相率いる保守政権が民族主義的政策を掲げEUと距離を置きつつあるようです。国内で保守派とリベラル派の対立が大きくなり、政権支持者のデモと政権批判者のデモが相互に繰り返されていると知人が不安気に話してくれました。短い滞在の間に、ある恩師は私にオルバン首相が歴史に名を残す素晴らしい政治家だと称え、別の知人は政権への不満を日本人の私に興奮しながら説明するという状況に、居心地の悪さを感じました。

今回の地方選挙への関心の高さはこのような国政を反映していることが想像できます。私が街の中で市長候補者のポスターを眺めて、とても驚いたことがあります。ポスターに「注意！彼はフィデス（政権保守政党名）の者だ！」という落書きを見つけました。気になって他の場所でポスターを見ると同様の落書きを幾つも発見しました。書き方から同じ人、同じ人たちがこの落書きをしたであろうことが想像できました。張られたポスターに落書きをして回る姿を想像して、改めて国内分裂の現実を見た気がしました。



(整備されたシール・カールマン広場/旧モスクワ広場)

一方で立ち居振る舞いから一見して、そこで暮らしているであろうアジア系の人を多くみかけました。ハンガリー語を話す外国人の子ども達にも出会いました。そして大きな「中国市場」がブダペストには数か所あり、とても賑わっているようです。多くの中華料理店の他、韓国人が経営する寿司バーも数か所見つけました。また中国との関係を深める政府は中国の大学にブダペストキャンパス設置を求めているとの話も聞きました。移民排斥やEUとの関係見直しなどに関する政治対立や国民の思想的対立とは別に、さまざまな人がハンガリーに集まり、社会や経済の交流や広がりが見られるよう進行しているようです。

「ハーリ・マーリア博士記念フォーラム参加」



(Dr.ジェベ・アンドレア学長)

ブダペストのヴィラーニ通りキャンパスでハーリ・マーリア博士記念フォーラムが開催されました。このフォーラムでは私たちが学ぶコンダクティヴ教育についての講演の他に、故ハーリ・マーリア博士との思い出を話す企画があり、私はわらしべ会がハーリ先生から受けた指導について報告しました。多くの恩師や友人、知人と久しぶりに直接話すことができ、時間が大きく巻き戻ったような錯覚を覚えました。(川本)

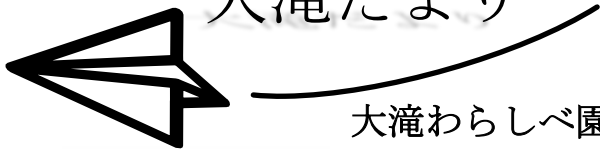


(ハーリ博士記念プレートで献花)



(王宮をのぞむドナウ川沿いの散策路)

## 大滝だより



大滝わらしべ園

〒052-0313

伊達市大滝区大成町10

TEL 0142-68-6344

FAX 0142-68-6345

Mail waras@ootaki.tv



## 道内旅行



(ラフティングへ出発)



(アイスの材料を混ぜます)



(ラフティングを楽しみました)



(夕食のBBQ)

今年の道内旅行で富良野へ行ってきました。利用者様が2組に分かれての旅行です。皆様行き道中からとても楽しそうに笑顔浮かべて目的地へ向かいました。まず1日目のスタートはチーズ工房でのアイスクリーム作りでした。材料を混ぜる作業から順次、作業工程に取り組み、完成まで真剣な表情で集中する人や楽しそうに笑顔浮かべながら取り組む人など、それぞれ自分のペースで参加しました。最後に自分たちで作ったアイスを食べ、その味を堪能しました。昼食の後は宿泊先で行うバーベキューに備えてみんな一緒に食材の買い出しへ出かけました。炭火バーベキューは野外です。少し寒さを感じる中、炭火の優しい暖かさを感じながらバーベキューを味わいました。いつもと違う野外での夕食を喜ばれる利用者様も多く、とても楽しい経験となりました。そして宿泊場所はコテージを選びました。施設と異なる見慣れない備品を興味深く観察する方もいました。いつもと違う体験は皆様にとって良い思い出になったことでしょう。2日目の朝食は自分たちで作ったホットサンドです。寝起きながらもそれぞれ分担した作業をしっかりと行い、ホットサンドを完成させました。自分たちで作ったホットサンドは美味しさもひとしおでした。腹ごしらえを済ませた後、待望のラフティングに向かいました。流れがゆっくりとした川下りのコースでした。揺れも水の音も心地よく思わずウトウトしてしまう方もいました。その他、ドローンを使った空撮という貴重な体験もさせていただきました。ラフティング後、昼食を食べて温泉に入り、ゆっくりとリフレッシュできました。充実した旅の疲れで帰りの車内ではぐっすり寝ている方もいました。

## 今後の予定

11月1日には大滝わらしべ園では「わらしべ祭」を開催します。今年のテーマは「魔法」です。ムービーやゲームの内容も魔法を意識したものを考えています。この行事では昨年までとは違った雰囲気をめざしています。わらしべ祭に向けた装飾物は利用者様と職員が協力して作りました。それぞれのペースで色塗りなどに積極的に参加していただいています。このように利用者様と職員が全員で当日に向けて楽しく準備を進めています。どんな魔法が起こるのか今からとても楽しみです。

## (カボチャ栽培 2019)

3年目の挑戦となった大滝わらしべ園のカボチャ栽培、残念ながら収穫60個となりました。昨年は冷夏で生育が悪かったこともあり、今年は万全の計画で準備をはじめたのですが、最初の「苗づくり」で失敗してしまいました。



(本町・苗穂地区センターにて)

やり直しや訂正ができない農業の難しさを感じています。これまでの学習を生かして来年また、挑戦します。60個のカボチャは札幌市本町・苗穂地区センター様にご支援を頂き、文化祭で販売しました。皆様のご支援をととてもありがたく感じました。(編集部)



(収穫のようす)

# 浦河だより

浦河わらしべ園

〒057-0171  
 浦河郡浦河町西舎 124-1  
 TEL 0146-28-1801  
 FAX 0146-28-1991  
 Mail urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp



浦河わらしべ園では毎月2回行われている「馬とのふれあいレク」や「秋の味覚・焼き芋レク」を実施しました。馬とのふれあいレクでは乗馬する利用者様だけでなく、馬とのふれあいが好きな利用者様など、それぞれ自分に合ったスタイルで楽しんでいました。普段、馬とふれあう機会の少ない方も参加し、とても賑やかな活動になりました。少し肌寒くなってきたある日、焼き芋レクを実施しました。浦河わらしべ園の前に落ちている落ち葉をみんなで集めて、自分たちでアルミに丁寧に包んだ芋を焼きました。ホクホクに焼けた芋を半分に割り、ガブッと豪快に嚙り付き、満面の笑顔で食べる方もおられ、秋の味覚を満喫しました。

9月下旬には、毎年恒例の秋の特別外出を実施しました。今年が入所の利用者様だけでなく通所の利用者様も交えて、帯広や札幌、登別など浦河から少し遠い場所へ1泊旅行として行く行程も企画しました。皆様のご希望を伺い近隣の町内への買い物や食事、御家族への面会に行かれる方もいました。職員相談の上、可能な限りご本人の希望に添えるよう工夫しました。いつもと違う場所や雰囲気、食事などご希望に添った外出に満足いただくことができたのではないかと職員で話しています。特に旅行先でご家族に面会する方は事前に入念な計画や調整をしました。職員がご家族と連絡を取り合い、待ち合わせの場所などを確認して当日をむかえました。一緒にお食事を楽しみ、ご家族との思い出の場所に行かれるなど、とても良いひと時を過ごすことができたようです。皆様思い思いの外出をめいっぱい満喫され、思い出に残る特別外出となりました。

## レク & 特別外出



(乗馬のようす)



(芋を包みます)



(外出先での食事)



(登別にて鬼と)



(宿泊するホテルにて)

## 今後の予定

浦河わらしべ園では恒例行事として、11月には厨房職員による寿司バイキング、また12月にはもちつきを行います。11月の寿司バイキングでは当日使用する寿司ネタのアンケートを取り、希望の多い寿司ネタを中心に準備します。12月のもちつきは今年も事故無く無事に行えるよう、入念に打ち合わせを行っています。もちつきは外部のお客様もお迎えする予定です。



## 職員紹介



氏名：対馬 瑞希  
 出身地：新ひだか町  
 趣味：映画鑑賞  
 特技：何事にもポジティブに捉えられること  
 5年目 生活支援員

利用者様と接して「ありがとう」と言われることに嬉しさを感じるようになりました。またあたたかく「頑張ってるね」と声をかけてくれる利用者様のお心遣いを有り難く感じています。これらの言葉をいただき、支援員として利用者様の支援に従事することがとても意味あることだと感じています。頂く言葉を糧にして、更に努力しようと思います。

## 札幌わらしべ園

## 東区事業所

〒065-0042

札幌市東区本町2条6丁目4-1

Tel 011-783-0606(1階)

011-790-8130(2階)

FAX 011-790-6572(1・2階共通)

Mail sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp(1階)

Whshuurou01@yahoo.co.jp(2階)

## 夏の集会



(集合写真)



(食材運び)



(食材を切ります)



(BBQ日和)

東区事業所1階では、8月3日に毎年恒例の「夏の集会」を行いました。午前中は全員でバーベキューの準備をしました。分担して野菜を切ったり、切った野菜を外に運んだり、それぞれの役割となった作業に取り組みました。昼食は楽しみにしていたバーベキューです。頑張った後のバーベキューはいつも以上に美味しく感じられました。たくさん食べて大満足の昼食でした。午後からマジシャンの方をお招きしてのマジックショーとビンゴ大会でした。マジックショーでは、目の前で次々と繰り上げられるマジックに、驚いた表情をされていました。また大盛り上がりのビンゴ大会では、皆様に番号の書かれたくじを引いていただきました。リーチになった際には、大きな声で「リーチ」と声を上げていました。またビンゴの際には、さらに大きな声で、喜びを表現してくれました。歓声いっぱいの夏の集会となりました。

東区事業所2階の利用者様は8月から9月末の2か月間「カラフルアート」「みんなでアートフェス」などの作品コンテストへの出品用制作を行いました。また、ハロウィンに向けてのパネル作品や個人の作品の作成など、この間、芸術の秋に向けてアートを中心とした活動に積極的に取り組みました。もちろんアート以外の作業も大切な取り組みです。外作業として、以前に引き続き外部の企業様での瓶、缶、ペットボトルの仕分け作業、さっぽろさくらんどでのラベンダー畑の草取り作業、札幌市洪水ハザードマップの配布作業、室内での道新の広告用折込作業を行いました。アート活動、屋外作業と室内作業にそれぞれ担当を決め、各自が得意とする作業を行いました。今年は天気も良く、例年より多く作業に取り組みました。出展作品制作によって、アート活動参加者、全員が渾身の作品を作ることができました。

## 活動報告



(余暇でのダンス)



(出展作品と)



(出展作品と)



(雰囲気の良い事業所内)

## 今後の予定

1階グループは12月に調理実習があります。現在、その際のレシピを考えています。  
2階は継続して外部企業受注作業を引き続き行います。また今年もクリスマスに向けて、パネル作品作りに取り組み始めました。来年はカレンダーの制作も計画しています。各自がそれぞれの作品を使ってカレンダー作成の予定です。これから寒くなっていきます。室内で体を動かす活動を実施します。



## この人紹介／市川るみさん



5月14日生まれのおうし座。

趣味はDVD 見ること、特技は寝返りをすることです。

わらしべ園は楽しくて、いろいろなお話ができるから、わらしべ園に来ることが毎日の楽しみです。わらしべ園での好きな活動は、ボーリングとマット運動です。

今ある希望は、レンタルビデオ店に行って、希望のDVDを借りたいそうです。「これからはなにかとよろしくお願いします。」とコメントを頂きました。

# 札幌わらしべ園

## 厚別・苗穂事業所

厚別事業所

〒004-0062

札幌市厚別区厚別西2条2丁目1-23

TEL 011-376-0106

FAX 011-376-0140

Mail sawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

苗穂事業所

〒065-0043

札幌市東区苗穂町3丁目2-35

TEL 011-776-7981

FAX 011-776-7982

Mail naejojimu@hotmail.com

厚別事業所では、10月29日にハロウィンパーティーを行いました。利用者様と職員が協力して9月から企画、準備をしてきました。事業所の装飾は皆様で分担して色塗りやハサミで切る作業を行いました。カラフルで可愛い飾りつけが完成しました。パーティー当日は利用者様も職員もそれぞれがハロウィン向けの仮装をしました。午前中はカラオケ大会でした。好きな曲を歌い、タンバリンなどを鳴らして大盛り上がりでした。午後からはまず最初に、目隠しをして箱の中身を当てるゲームをしました。手探りで箱の中身を当てるのは難しいのですが、周りからヒントをもらいながら中身の品物を検討していました。正解をすると、当てた物がプレゼントされ、皆様、声を上げて喜んでいました。その後実施した目隠しお絵かきゲームでは、目隠しで設定されたお題の絵を上手に描けるか、白熱したお絵かき合戦が行われました。ハロウィンパーティーは大成功に終わりました。

### ハロウィンパーティー



(集合写真)



(仮装を楽しみます)



(箱の中身を見事正解)



(目隠して描くのは難しい)

### 外出活動



(芝生に座って)



(サイレージと青い空の前で)



(館内を見学します)



(芋掘りもしました)

8月3日に実施した外出で札幌さとらんど「ミルクの郷」に行きました。車を降りて、すぐに目に入るのがミルクの郷のシンボルである大きなサイレージです。近づくともとても高くそびえ立つ巨大な塔にも見えます。皆様、下からてっぺんまで見上げて歓声をあげていました。牛舎に近づくともホルスタイン牛を間近で見ることが出来ます。ここでは生きた牛を近くで見て、興奮する方もいました。その後の工場見学では様々な乳製品が展示されていました。ここでは皆様で普段食べている商品を探しました。製造工程を上から見る事ができ、数えきれないほど多くの商品が作られていることに驚く方もいました。好天に恵まれ、牛や工場を見学でき、大満足の外出でした。

(タッピーわらしべ園 開催のお知らせ)  
札幌市東区介護予防センターなえぼ様指導によるみんなのタッピー体操のグループ名が「タッピーわらしべ園」に決まりました。住民主体の体操グループ活動です。老化防止や筋力維持をめざして軽い体操に取り組みます。どなたでも参加できますので、札幌わらしべ園苗穂事業所のお近くの方は、タオル、飲み物持参、動きやすい服装でお集まり下さい。札幌わらしべ園職員(作業療法士)も参加します。  
場所；わらしべ園苗穂事業所2階  
開催日 11/14・11/28・12/12・1/23・2/13  
時間 10時-11時30分(参加無料)

### 街かどスペース

#### 「あごら」わらしべ便り

夏休み期間である8月の地域食堂は3回の開催でした。その内、1回は夏休み自由研究として「芳香剤作り」を行いました。一般的な保冷剤には消臭効果があるのですが、それを利用したDIYです。ジャムなどの空瓶に保冷剤の中身を入れ、好きな色の絵の具を混ぜ、それにビーズやラメなどを混ぜ込むと個性的な芳香剤の完成です。9月は「折り紙教室」で紙飛行機を折りました。10月には「マジック教室」と「風船バレー大会」を行いました。

ボランティアスタッフとして参加してくれる地域の皆様のおかげで、徐々にわらしべ会の「地域食堂」が定着してきたようです。ボランティアの皆様、参加者の皆様、いつもありがとうございます。



地域  
食堂  
予定

1月  
11日

クローズアップこの活動



～ひまわり活動～

現在、5名の利用者様が天気の良い日には畑作業、天気が悪い日には園内の掃除などを行っています。外作業は野菜の収穫の他、雑草取りや石ひろい等の作業です。畑作業は一人一人のペースで行っているため、利用者様の個性が作業の様子に現れることが多くあります。細かく隅々まで草ぬき作業をしてくれる方も、少し大雑把ながら広い面積の作業を行ってくれる方もいます。円滑に作業ができるよう話し合っ役割分担を決めています。集めた雑草や石をまとめて捨てに行くのが得意な利用者様もいます。

各自の希望や特性に応じた役割分担は園内掃除でも同様です。モップ担当、ちりとり担当など、それぞれの利用者様が手分けして作業を行っています。屋内作業が楽しく取り組める工夫もあります。大滝わらしべ園の名物となった「雑巾がけ」は全員で一斉にスタートで「雑巾がけレース」です。冬期は畑での作業が休止となります。

今、健康づくりを目的にスキーマラソン大会に向けた練習をはじめました。スキーマラソンは利用者様と職員がコンビになり、各自のペースに合わせて滑ることができます。まだ雪が積もっていないのですが、今から雪が降るのが楽しみです。



令和元年度（前期）わらしべ会 主な活動

月 日	内 容
4月21日	全身協セミナー（苗穂事業所開催）
5月25日	理事会 開催
6月10日	評議員会 開催（役員改選）
（同日）	理事会 開催（役員改選）
9月12日	地域福祉研修会（浦河わらしべ園）
9月18日	札幌市監査指導
10月14日	工事検討委員会（苗穂第2事業所）
10月20日	工事入札（苗穂第2事業所）
（同日）	理事会 開催

通信

グループホーム シェアハウス

グループホーム

グループホームメンバーは8月の晴れた日に小樽へ小旅行に出かけました。小樽水族館や観光乗船など普段できない体験をしました。大喜びで充実した休日となりました。



シェアハウス

今回はシェアハウスでの夕食風景を写真で紹介します。604号室は笑顔いっぱい食事を楽しむ様子です。カメラを向けられニコリと笑顔になりました。この日の605号室では、テレビを見ながら楽しい食事となりました。



（地域共生社会を目指して／前期の努力）

- 「地域食堂」はボランティアスタッフ皆様の応援で、定着し始めました。少しずつボランティアさん、参加者共に増加しています。琴のサークルの演奏も実施していただきました。これらの活動を新聞や福祉関連情報誌等でも取り上げていただきました。
- 介護予防センターなえぼ様のご指導で、札幌苗穂事業所を開催場所とした「タッピー体操」（介護予防センターなえぼ様独自の介護予防体操）の地域自主グループの活動が始まりました。わらしべ園の職員も毎回、参加しています。
- 4月には札幌苗穂事業所（共催）で、9月には浦河わらしべ園（主催）で地域や法人外の方、福祉関係者や学生などを対象としたセミナーや研修会を開催しました。



## わらしべ会だより／今井さんが語るわらしべの歴史

広報紙前号[2019. 8]は紙面の都合でこのコーナーを1回休ませて頂きました。今回は今井さんがわらしべ会に就職後、ハンガリーに留学した際の様子を話して頂きます。

(編集部) 今井さんはハンガリー・ブダペストのペトゥ研究所への最初の留学生です。今井さんがハンガリーで留学を始めてすぐに、急転直下でわらしべ学園の子どもたち5人と学園スタッフ数名が療育留学ということになったそうですね。

(今井さん) そうです。1978年のことです。当初の計画では子どもたちの療育留学は1年以上先でした。それを早めるのですぐに受け入れ準備をせよという指示が村井先生から急遽入りました。私はハリー・マリア所長のアドバイスに従ってペトゥ研究所の監督官庁の教育省へ申請を試みました。ところがまともには取り合ってもらえません。今考えれば当たり前です。外国人の若造が突然そんな申請を行っても官僚機構が相手にするはずありません。

私は困り果ててハリー所長に相談に行きました。するとハリー所長はこんなことをいうのです。あなたの申請が門前払いになっているのは知っているし、彼らに受け付ける気はない。しかし、日本人からペトゥ研究所への日本の障害児受け入れへの要望が出ているという情報は教育省全体にすでに広まっている。それで十分だ。すぐに日本のDr. 村井に連絡して子どもたちを観光ビザでハンガリーに入学させなさい。というのです。しかし観光ビザでは1か月しか滞在できません。そのことについて意見を求めると、そんなことは分かっているというのです。観光滞在1か月の間にこの問題をハンガリーの国内問題からマスコミを巻き込んだ国際問題に変えてしまえばいいと言うのです。そうすれば日本の子どもたちを追い返すことなど容易にできなくなるという計画です。

結果から言うとハリー所長の読み通りの展開になりました。初めは日本大使館からも注意を受けましたが、日本でもマスコミで話題となり、わらしべ学園を育てる会の松本会長らの陳情も功を奏し、折よくハンガリーを訪問した当時の日本の外務大臣がこの問題に公式の場で触れてくれたのです。その瞬間からすべてが変わりました。わらしべ学園の子どもたちは正式に半年間受け入れられることになったのです。平穏な島国から何も知らずにやってきてとんでもない世界を体験することになりました。

(編集部) 随分、強引な駆け引きでブダペスト滞在が実現したのですね。しかし、当時、社会主義国だったハンガリーでそんなことをして大丈夫だったのですか。

(今井さん) 大丈夫ではないですが、私の場合は日本という帰る場所があります。大変だったのはハリー所長です。当時の社会主義国家で政府機関相手にあんな勝負を仕掛けたのですから。ただこれは後から知ったことですが、当時のペトゥ研究所はかなり難しい状況に追い込まれていたようなのです。

ペトゥ博士が生きていた時代からハンガリー政府はペトゥ研究所の運営を政府の管理下に置こうとしてきました。しかしペトゥ博士が生み出したものは医学や教育といった既存の枠組みに収まりきるものではありませんし、逆にそうした既存の枠組みに挑戦するような面を持っています。それを維持するためペトゥ博士は政府に対する研究所の独立性を守り抜いていたのです。しかし、ペトゥ博士が亡くなって10年を経過した当時、このバランスが崩れつつあり研究所は事実上の独立の危機に瀕していたのです。そこでハリー所長の考えだした戦略。それは国外とりわけ当時の西側諸国との関係を築き、それをベースに研究所の政府に対する従来通りの事実上の独立を維持させるというものだったのです。そんなただなかになんか何も知らずに飛び込んだのが私たちだったのです。結果から言うとこの戦略ものちになって見事に実現します。この頃ハンガリーの外ではほとんど知られていなかったペトゥがここから10年20年と経つうちに世界的な評価を受けることになったのですから。



(ヴィラーニ通り建物)

(編集部) 次回は5人の子どもたちと職員ハンガリー留学の様子を聞かせてください。



(創設者村井正直博士とハリー・マリア博士)

お 知 ら せ

❀ ありがとうございます ❀

順不同にてご紹介

ご寄贈頂きました。

富田牧場様

川口谷八千穂様



札幌市本町・苗穂地区センター様／文化祭でのカボチャ販売ご支援  
地域食堂ボランティアスタッフの皆様／地域食堂開催のご支援

皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

札幌わらしべ園苗穂事業所は、地域のミニ図書館として図書を開放しています。この蔵書を創設者の名前から「村井文庫」と名付けました。貸出も行っておりますのでお気軽にお越しください。  
開館平日 10:00-17:00  
学習スペースもご利用ください。

\* 行事予定表 \*

		大 滝	浦 河	札 幌・法 人	
11月	1日(金)	わらしべ祭	13日(水)	4日(月)	地域食堂 (苗穂事業所)
	16日(土)	小旅行		14日(木)	タッピー体操 (苗穂事業所)
12月	未定	忘年会	7日(土)	16日(土)	インターンシップ (苗穂事業所)
	未定	自治会誕生日会		28日(木)	タッピー体操 (苗穂事業所)
	未定	忘年会		10日(火)	法人創設者村井陽子先生ご命日
1月	未定	新年会	2日(木)	12日(木)	タッピー体操 (苗穂事業所)
	未定	新年会		20日(金)	理事会(法人)
	未定	新年会		28日(土)	R1年通所最終
			20日(月)	2日(木)	騎馬参拝見学・初詣
				6日(月)	R2年通所開始
				11日(土)	地域食堂 餅つき会 (苗穂事業所)
				23日(木)	タッピー体操 (苗穂事業所)

ボランティアスタッフ募集

札幌わらしべ園苗穂事業所では毎月1回、地域食堂を開催しています。このイベントのボランティアスタッフを募集しています。

住所：札幌市東区苗穂町3丁目2-35

電話番号：011-776-7981 (担当：廣瀬)

最寄り駅：JR「苗穂駅」より徒歩15分

※食事をされる方は大人200円、子ども100円を頂いています。

札幌苗穂第2事業所の改修工事が11月11日より始まります。トラック等、工事車両の入りもあります。ご近所の皆様にご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力をお願いします。完成後、これまでの苗穂事業所は図書の閲覧や学習スペースとして、改修工事建物2階を体操教室や子どものスペースとして機能を分けて、ご利用頂けるように準備を進めます。改修工事期間；2019年11月11日-2020年3月31日(予定)

編集後記

北海道の短い夏が終わり、収穫の秋を迎えています。皆様いかがお過ごしでしょうか？今年のは、元号が平成から令和となり、10月22日には「即位礼正殿の儀」が執り行われました。お祝いの気持ちと共に、時代が大きく変化していることを感じます。さて、わらしべの秋は各施設・事業所でわらしべ祭やハロウィンなどのイベントが盛りだくさんです。また、北海道秋の風物詩、雪虫が飛び始め、雪の訪れが近くなってきたことを感じます。今年も残り2か月となりました。今更に、冬の足音が聞こえ始めました。昼夜の温度差が激しく、少しづつ気温が低くなって参りました。体調など崩さないよう、ご自愛下さい。今後ともよろしくお願ひ致します。

編集職員一同

